

1994年3月号

ウィズ
Weeds

〒862

熊本県熊本市保田窪本町5-29

TEL・FAX共通

096-382-0861

牛乳パック回収して頂く際の
お願い

いつも牛乳パックを集めていただきありがとうございます。皆様には大変お世話になっています。

こちらからパック回収に行く日は大体火曜日が回収日になっていますが、運転手の都合で来れない場合もありますので、ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いします。センターの運転手も他の仕事をされていますので、どうしても来れない場合もありますので、ご理解下さいませようよろしくお願いします。もし、火曜日の運転手が来れないときには月曜日には分かりますので、月曜日の朝にお電話を入れるようにしたいと思います。それと回収に行く時に何時と言われてもその時間に行けるかどうか分かりませんので出来れば分かる場所に出していただいたら助かりますが、なかにはまだ開いてないパックもありますので、出来ましたら開いて出してください。それと時々まだ濡れているパック等がありますので、出来れば乾かしてから出してほしいと思います。濡れているとどうしても箱に詰められなくて困りますのでちゃんと開いてあれば助かります。牛乳パック回収に来てほしい学校関係の担当の先生は、出来ましたら月曜日の午前中に電話頂いたら助かりますが、月曜日の午前中に火曜日の予定をたてるようにしていますので、TEL番号382-0861、担当野口まで連絡して下さい。ご協力宜しくお願いします。それと出来ましたら、センターから牛乳パック回収に行く時にセンターで取り扱っている品物を持っていきますので良かったらご購入頂けたらセンターも助かります。皆様のご協力があればセンターの売り上げものびて助かります。

野口美枝子

地域で生活して 一年が過ぎて

地域で生活して一年が過ぎました。最初3ヶ月は、先輩と二人で生活を始めて、今まで団体生活だったので不安もありましたが先輩が楽しくしてくれました。4ヶ月目には、先輩が引っ越しされて、一人生活が始まりました。又、これも初めてのことでしたが何ヶ月か経つうちに慣れてきて何となく過ごすようになりました。

仕事の方は、牛乳パックをダンボールに詰め込む作業をしてきてすこしずつ早くできるようになってきましたが、販売の方はあまりうまくありませんがやらないといけませんので頑張らないといけませんと思いますが…人間関係は、最初はどこにいてもあんまり変わりがないと思いました。実際その通りでしたが僕が今まで無いタイプの人がありました。こんな人もいたんだと感じました。自分がまだまだ知らないタイプの人っているんだらうと思った一年の人間関係でした。

その他、夕方とか日曜、祭日は、今までと違って食事は、自分がいい時間に好きな物を食べられますが、お金をうまく使わないといけなないので、頭がいたいところですが今のところは、うまく使って好きな物を食べています。しかし、ある

面で考えると好きな物ばかり食べると体にはマイナスと考えますが僕は、体にマイナスなろうと好きな物を食べて体がだめになり天からお迎えが来ようといいいではないかと考える最近です。

僕のコレクションであるCDもこの一年でたくさん買うことができ嬉しいです。今までは、施設でしたので職員に頼まないと行けないところでしたし頼んでも売り切れだったりして買えなかったりしたけれどセンターにでて来てからは、売り切れと言うのがなくなりました。なぜかと言うと僕の体力のぎりぎりの所にあるのできつくても行けるので発売日の日には、仕事がある日には、夕方五時以降に行き、休みの日には、昼から行くようにしてるから売り切れる前に買うことができます。必ず発売日に買わないとすまないのがWANDS、ZARD、BLOW、TUBE、小泉今日子です。その他にも買いますけどこの名前が上がってるのは、出る日に買うようにしています。買うついでに情報を入れるようにしています。これも又、一つの楽しみです。今後も続けたいです。

一年間で楽しみが一つ増えた事があります。それは、お風呂の介護に高校の

時、昼休みに将棋をしていた先生に7月映画をした時再会出来て、今度遊びに来て下さいと言いました。その次の週の日曜日遊びにきてくれて、風呂の介護を頼んでみたところ先生は、日曜であいている時はいいですよと言われて、次の週から風呂入れに来てくれるなり又、将棋も出来るようになり嬉しかったです。今では、風呂の介護は、日曜がだめな場合は土曜にきてくれています。本当に有りがたいし楽しみも増えうれしいです。それにもう一人能力開発センターで一番信用できて好きだった先生とも再会出来て買い物に付き合ってもらったりとか相談にのってもらっています。これからも大事な二人であり、僕の宝です。

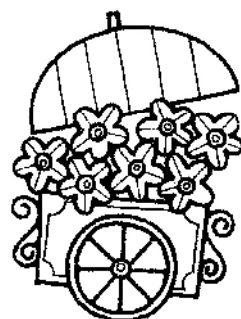
今後の目標又は、やってみたい事は、せっかく地域に出てきてるのだから施設で出来なかった事と思っています。その一つ目に上げているのが3月4日にある大ぶりの雨がないうりある巨人VS阪神のオープン戦早く言えば野球を球場で見たいという事です。以前に行った事はあるけど小学3、4年の時だったのでおもしろみが分かってなかったから、分かる今見ればおもしろいだろうと思って楽しみです。

それからコンサートにも行きたいし、友達も増やしたいしそして、その中で愛しい人を見つけ出来ればゴールインした

いものです。そのためにも仕事の方も頑張らないといけません。そして、永遠の眠りにつく時に記憶のすべてに楽しかった事とか愛しい人が残るぐらいにしたいです。

そのためには、実行とよくよく考えて行動する事です。これが僕の一年間で楽しかった事と思った事と今後の目標でありやって見たいです。その他にも書いてない分もありますけど、これが「地域で生活をして一年が過ぎて」です。

K・O



シリーズその四

アルコール依存症を知る！

〈2〉後期離脱症状群

別名は、振戦せん妄である。お酒をやめて2～3日目に生じ、たいていは3日以内位で消失するが、まれに3ヵ月ちかく続くことがある。主な症状では、幻視、見当識障害、興奮である。

「幻視」とは、実際に見えるはずのないものが見えて、それを信じ込んでいる状態である。小さな動物が群れが見えることが多い。また幻聴を伴うこともよくある。「見当識障害」というのは、時間や場所、人物の見当が付かなくなることをいう。このような症状のために、不安や恐怖が強く、興奮して騒ぐ。この他、発熱、発汗、振戦などの自律神経症状を伴うことが多い。

振戦せん妄を繰り返していると、コルサコフ症候群などの重症の脳障害を起こして回復しないことがある。 お酒の飲み方を②から⑤（前号参照）のうちどれか一つ、および離脱症状のうちのふるえ、発汗、不眠、焦燥感のどれか一つあれば、アルコールに対するコントロール障害を起こしていると考えた方がよい。上記の症状の全部がそろふ必要はない。当てはまらない部分がたくさんあるので「私はアルコール依存症ではない」とは言えない。自分の違うところをさがして安心するのではなく、当てはまる部分を見つけて断酒を決意すべきである。

お 知 ら せ

3月19日（土）に熊本県障害者福祉作業所連絡協議会主催で熊本市立図書館ホールで桃山学院大学の北野誠一助教授の記念講演がありますので、皆さん是非お出でかけ下さい。テーマは「障害者と家族・地域」です。

これから先の障害者の自立についての講演です。北野先生の講演はWeedsでも5回にわたり連載しています。大変良い勉強になると思います。

日 時：3月19日 午後1時～5時

連絡先：096-371-9381 第二ぎんなん作業所

連載 北野 誠一 講演録 No.5（最終回）

「障害者運動と共同作業所・共同事業所運動の展望」

デイサービスセンターというのがありませんね。これから日本には多くのサービスセンターができてきます。国が10,000カ所の在宅介護支援センターを作るとしています。今は、1,000台です。ここで、共同連の活動に目を付けてきます。今後皆さんが在宅介護支援センターとかデイサービスを提供する拠点として活動してくれないかという働きかけがあると思います。しかし、こういうものに乗る乗らないは、自由ですが、単にサービスだけを提供する組織にはなってほしくないのです。サービスだけを提供したら、絶対仲間にはできません。グループとは無関係にサービスだけを買っているんだという意識を持った利用者だけをつくるサービス提供機関になったらいけないと思います。やはり、サービスを受ける、自立生活センターとして、仲間として自立生活のトレーニングを受けてもらったり、仲間として活躍してもらえような場所や考え方やプログラムを提供していかなければ、共同連がやる意味がないのです。サービスを提供するだけなら他の組織団体がしてくれます。サービスを受けている人を、いかに仲間にするかというプログラムを地道に構築できるかが、共同事業所運動の大きなものになると思います。

現在は在宅介護支援センターは、法人に

しか認めていませんが、今後法人以外にも認める可能性があります。そうなれば皆さんたちもこれを運営する可能性が出てきます。これは社会制度、社会資源を使いこなすということになります。この時、使いこなし、使われるという関係になりますが、使いこなしているつもりが、自分たちの考えや主張から離れてしまうことのないよう、当事者が主体的に運営する、仲間の権利を守っていける草の根性、権利擁護性をなくさない形でやっていくためには、はじめから自分たちにはね返ってくるものをよく理解してやらなくてはなりません。その時に大事なことは、現在、共同連の幾つかのグループが社会福祉法人を作っていますが、今後設立するときにどういう人を理事にしたら、うまく使いこなせるか、どういう形で自治体と交渉するか、こういうことを作る時に苦労した皆さんの仲間が一番良く知っています。だから、こういう過程を記録に残して置いてほしいのです。

次に作る時は、先輩の苦労を頂いて、半分の苦労で済み、うまくお金がもらえて、相手に使われずにこちらが使いこなせるようなノウハウを学んでいただきたいと思います。そうしなければ、行政に巻き込まれてしまう可能性があります。国は、なにを考えているのか。自治体はなにを考

えているのか、ということです。授産施設制度のあり方検討委員会というのが国にあり、去年厚生省が授産施設制度のあり方検討委員会の提言というのを出しました。これがどういう方向で進んでいるのか、なかなか明らかにしてくれません。この理由は、一つは政治が変わりました。今度連立与党ができて、厚生省、労働省でも全体像が見えにくくなっているのです。不確定要因、はっきりできない要因があるのです。もう一つは、授産施設のあり方検討委員会は、かなり曖昧な言い方で終わってしまいました。例えば、共同作業所、共同事業所を将来どうするのかということについて、明確に展望が出せませんでした。というのは、作業所のある部分を分離して法人化し残りは放置する、あるいはもともと無認可で動いているものだから一切放置するなど、いろいろな意見があり、まとまらなかったそうです。作業所をどうするかについては、統一見解を出せませんでした。ということで、展望が出にくいのです。ただ、はっきりしてきたのは、通所の授産施設を増やしていく、入所の授産施設を減らしていく、職住分離の方向性も出しました。授産施設の一定部分は、福祉工場に変えていくというものもあります。我々は、福祉工場ではなく一般工場が望ましいと思います。福祉工場というのは、かなり労働が厳しく、給料のわりにはしんどい思いをされていま

す。障害者だけが働き、共に生きるという視点からは外れています。福祉工場ではない方向を実現するためには、共同連はどうすればいいか検討が必要でしょう。

大阪市では、今年六月に、「大阪市における今後の障害者支援のあり方について」という、国際障害者年のあとの十年計画に続く、今後の十年計画をつくりました。この中で、作業所をどうするかということです。全国の作業所の十年後が私たちにも分かりませんでした。将来的に最も良いと思われる方向性をまとめきれませんでした。今、運動されている方々も、統一見解を持っていらっしゃると思います。検討課題として大阪市内も幾つかあげていますが、「わっぱの会」がまとめているように、①訓練や生き甲斐のための場ではなく、障害者・健全者みんなの共同の経済的・社会的自立を目指す。②単なる仕事や住まいの場ではなくて、地域の生活と労働を結ぶ総合的な人間交流の場とする。③従来の観念に捕らわれず、一層の仕働観の変革を進める、ことが大きな課題となるでしょう。③の仕事の広がりや労働観の変革について、就労展開のモデルとして箕面の「障害者事業団」の展開ですが、既存のいろんな団体、豊能の「労働者センター」の事業所のメンバーが集まって大きな団体を作り、市と交渉し、市から十億円の基金を出してもらって、「箕面市

障害者事業団」という財団法人を作りました。そして、市が新しく始める事業や新しく建てる公共施設などの全メンテナンス事業、建物内の売店の運営、プールや駐車場の管理をすべて事業団がするという方向で話をつけつつあります。既存の建物などでは、他の業者などの既得権がありますから、新規事業についてというのは良い方法だと思います。かつて、自分たちが作った品物を市などに買ってもらうという方法がありました。これもいいのですが、自治体が新しくする事業の一部を委託されるというのは、責任も重いのですが、その場所に自分たちが出かけていくのですから、組合の人、市民、働いてる人などとの触れ合いが持て、一層効果的に人間関係も影響力も生まれやすいと思います。これから一番大きな狙い目でしょう。新しく起こる事業を速くキャッチして、その事業について意見を言える仕組みを作っていく、その事業の一端の委託を受ける方向で行かれたら、重度の障害者が働く拠点として最もふさわしいと思います。障害を持っておられる方には第二次産業、物を作る作業はしんどいんです。物を作るのは、体力が十分にあってきついです。第三次産業に食い込むほうが、将来的には障害者の運動で展望があると思います。体力勝負より、アイデアで勝負できる場所がどこにあるのか、ここがポイントでしょう。そして行政を巻き込む。物を

売ったり、管理したり、アイデアを売ったり、その辺で飯を食う方向で皆さんのノウハウを交換していけたら、一番力になると思います。

ありとあらゆる集団、組織とでも接点・出会いを作って、差別や偏見をはらんで否定的に、障害者の人は何もできないと思いこんでいる人たちを変えて、お互いに有益な社会資源として活かし合う有益な人間関係・社会関係に変えていく、そのことによって自らと社会を解放していく、このことが今後も皆さんが勝ち取っていかれるべきことだと思います。

21世紀には、障害者当事者自身がさまざまな支援団体とともに新しい社会の仕組みを作っておられることを期待して、今日の話を終わります。私も出来るだけ協力していきます。ありがとうございました。 おわり



2月の日報から

2月1日	バック回収（西合志東 健軍 岡田コーヒー、池田、画図小学校） ダンボール回収（2カ所）
2日	くまもと生協バック持ち込み
3日	積み出し 紙すき
7日	バック回収（麻生田、託麻西小学校） 配達（松橋養護学校）
8日	封筒糊付け（野口）
9日	くまもと生協バック持ち込み 通信発送作業 会議（倉田） 紙すき袋つめ（野口）
10日	積み出し 通信発送作業 紙すき（清水、大久保）
14日	販売（松橋養護学校） 通信発送（野口）
15日	配達（矢部方面） ワープロ（久島）
16日	くまもと生協バック持ち込み ダンボール回収
17日	積み出し 紙すき
18日	事務局会議 ワープロ（久島）
21日	配達（泗水東小学校）
22日	パルプ作り
23日	くまもと生協バック持ち込み パルプ作り
24日	積み出し 交流作業（共生社東支部）
25日	事務局会議（2時～）
28日	パルプ作り

2月のバック回収から

2月1日	ヤマギシ	103.3kg
	西合志東小学校	3.3kg
	池田小学校	51.5kg
	画図小学校	41.7kg
	健軍小学校	48.9kg
	岡田コーヒー	10.8kg
2日	入江さん宅	4.3kg
	尾の上小学校	64.3kg
	熊大学生寮	15.7kg
4日	開田様	19.1kg
7日	桜木小学校	53.6kg
	甲佐高等学校	102.6kg
	託麻西小学校	12.7kg
	麻生田小学校	54.1kg
	下山さん宅	98.9kg
8日	ソロブチミスト	13.8kg
14日	松橋養護学校	81.9kg
15日	浜町小学校	45.4kg
	個人	2.2kg
	麻生田小学校	53.9kg
	向山小学校	11.7kg
	出水小学校	20.7kg
16日	帯山小学校	57.3kg
21日	月出小学校	50.7kg
	清水第二幼稚園	46.7kg
	スーパーレットタニダ	46.1kg
	南が丘小学校	44.9kg
	合志小学校	69.2kg
22日	今村様（ホープ）	0.6kg
23日	南小国婦人会	37.2kg
24日	熊大生協	30.5kg
25日	柴田様	4.8kg
28日	高森小、中、高	1.1kg

一九八〇年五月十三日第三種郵便物認可（毎月三回）・五・十の日発行）発行一九九四年三月五日（定価五〇円）
RAPD通巻229号 発行人 熊本県身体障害者団体定期刊行物協会 熊本市国府三丁目二一八九（友村方）

編集後記

いつも労働センターに牛乳バックを回収していただき有り難う御座います。さて、ウィズでは4月号より新企画を掲載したいと思います。どうぞお楽しみにネ。

また、皆さんの原稿をお待ちしております。

編集長 久島 雅樹